

学習内容報告書 フォーマット

学校名	関大初等部
授業者	孕石 泰孝

1. 単元計画

1 時間目 海の生き物について調べよう

2 時間目 即興劇「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ27」

1-1. 単元名

海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ27

1-2. 学年

小学5年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

海の生き物の特徴や能力を調べ、調べたことを短い劇にして言葉や身体で表現して伝える。様々な特徴や能力を知り、他の班の発表を見ることで、海の豊かさを知り、海を守ろうとする心を育む。

1 コマ目は調べ学習を行い、その内容を元に、外部講師と教員が協力して、「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ27」のプロット（海洋生物の能力を使って解決する課題たち）を作成する。

2 コマ目は外部講師を招き、「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ27」というシナリオを即興劇の形で進める。シナリオの進行には、「海の生き物の能力について発表する」ことが必要であり、調べ学習や小集団での話し合いを元に、外部講師と協力して即興劇を進め、海の豊かさやそこに生息する生き物への興味を喚起する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海洋に生息する多様な生物特徴について考える学習に取り組む。人間には一見役にたたなさそうでも、どこかいいところがあるからこの形になっている、ということに思いをはせることができる。地上には無い形や特徴を持つ海の生物について調べることで、生物について関心を持ってほしい。

調べ学習で各々が調べた後、外部講師を招いて劇の形にするという目標を持つことで、楽しみながら小集団の中で知識を共有し、課題を検討することを目指す。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海には様々な生き物が生息しており、多様な形態や能力を持っていると理解することができる（知識及び技能）
- ・調べた内容や知識を人に伝えることができる（思考力・判断力・表現力等）
- ・海の豊かさを知り、尊重する態度を育てる（学びに向かう力・人間性等）

1-7. 単元の展開 (全 2 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>1. 海の生き物について調べ学習を行う。【一斉】</p> <p>(1) 海の生き物をひとつ選び、その特徴や能力を調べる</p> <p>(2) 生き物の持つ特徴や能力について疑問に思った点を書く。</p> <p>2. 調べた内容をワークシートまたはタブレットのキーノートにまとめ、提出する。【一斉】</p>	<p>(配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ワークショップワークシート
2	<p>1. 今日の授業のみとおしを持つ。【一斉】</p> <p>(1) 外部講師による「怪盗オーシャンズ 27」のデモンストレーションを見る。</p> <p>(2) 小集団に分かれて、担当の課題を知る。</p> <p>2. 課題を解決するためには、どの生き物の能力が必要か話しあい、検討する。【小集団】</p> <p>3. 「怪盗オーシャンズ 27」を即興劇【一斉】</p> <p>(1) 児童は「司令本部のメンバー」としてアシスタントを介して、講師に司令を出す。</p> <p>4. 海の生き物の特徴や能力について考える。【一斉】</p> <p>(1) 感想を書き、発表する。</p> <p>(2) 教員からのまとめ</p>	<p>(教師の指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物から学ぶ、生物の見方・考え方について伝える。 <p>(主な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物の様々な特徴を考慮しているか。 ・知識や仮説を他の人と共有できているか。 <p>(外部連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団員 2名：怪盗役と司令本部アシスタント役として即興劇を進行する。 <p>(パワーポイントの映写)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ 27」 <p>(配布物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ 27」ストーリーシート

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

1 時間目にクラスメイトが調べた生き物の特徴を知り、シナリオに出てくる課題に沿ってどの生き物の特徴が適切か検討することができる。

即興劇の中で、検討を元に、その能力をどう使うか発表することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 今日の授業のみとおしを持つ。【一斉】</p> <p>(1) 外部講師による「怪盗オーシャンズ 27」のデモンストレーションを見る。</p> <p>怪盗になりきった講師が、シナリオ中の目標を伝える。</p> <p>怪盗役「“海の生き物の力を使って、数々の試練を乗り越えて、海の宝を探せ！”というのが今回のミッションなんだけど…私、あまり海の生き物に詳しくなくて。アシスタントの〇〇くん、本部から司令を送ってもらえる？」</p> <p>アシスタント「わかりました。(児童に) みなさん、先生に聞いたところ、海の生き物について調べたそうで。どうぞ力をかけてください！」</p> <p>(2) 小集団に分かれて、担当の「試練」を知る。</p> <p>ワークシートには生き物の種類(クラスによって異なる)と、「試練」1～7（または8）まで書かれており、それぞれの班に担当の試練を割り当てる。</p> <p>2. 課題を解決するためには、どの生き物の能力が必要か話しあい、検討する。【小集団】</p> <p>3. 「怪盗オーシャンズ 27」を即興劇【一斉】</p> <p>(1) 児童は「司令本部のメンバー」としてアシスタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を紹介する。 ・クラスを7～8班の小集団に分ける。ひと班に一名以上は「試練」に適した生物を調べた児童が入るように予め組んでおく。 ・「海の宝を狙え！怪盗オーシャンズ 27」ストーリーシートを配布する。 ・「試練」を解決するために、前回の調べ学習で提出したワークシート・キーノートのデータを参考にするよう支援。

ントを介して、講師に司令を出す。

外部講師が、寸劇を行なったあと、児童に助けを求める。

例) 試練1「まぶしくて宮殿へつながる秘密の道がよく見えない」

怪盗役「ざぶーん（海の中に入る）海の中だから、サングラスはいらないな。（サングラスを投げる）ポイ！（地図を見ながら）…まぶしくて見えない！アシスタントの〇〇組ん、こんな時、どの生き物の能力を使ったらいいの？司令をお願いします！」

アシスタント「わかりました！（児童に）あの…どの生き物の使ったらいいですかね？」

児童「イカの能力を使ってください」

怪盗役「えーイカの能力？本当に役に立つんでしょうね？」

・外部講師は。児童が説明を続ける場合は、それを受けて演技をする。

・不正解の場合も、それを受けて試練に失敗する演技をした後、なんども挑戦する。

（2）試練を全てクリアすると、海の宝箱にたどり着く。宝箱は空っぽ。代わりに、手紙が入っており、内容が映し出される。

「海の宝には、ご満足いただけただろうか？海の生き物のさまざまなチカラ・・・それこそが海の大切な宝なのだ」

4. 海の生き物の特徴や能力について考える。【一斉】

（1）感想を書き、発表する。

教員「今日は、普段の理科の授業とはだいぶ違っていました。前回の授業で調べた生き物の特徴がこんなお話になるとは思いませんでした」

「前回の調べ学習と、今日の活動を通して感じたことを書いておきましょう」

・「試練」に成功した後、パワーポイントで児童の調べ学習のページを表示する。

・感想を書く用紙を配布する。

3. 今回の活動の自己評価

シナリオを外部講師と綿密に打ち合わせて作成できたことで、海には多様な生き物が生息し、驚くような特徴を持っているということ、スムーズに理解できる内容にすることができた。

即興で外部講師に指示を出すという演じる部分でも、1時間目の調べ学習と2時間目の小集団での検討と段階をふんでいたこともあり、アシスタント役の講師が話をふると、すんなりと発表することができていた。

児童の感想でも「みんなに自分の調べたイカの偏光サングラスの機能があることを知ってもらえてうれしかった」「自分の生き物は取り上げられなかったけれど、他の人が調べた生き物のことを知ることができてよかった」「もっと海の生き物について知りたいです」等、単元の目標にかなう内容となった。特に「海には様々な生き物が生息しており、多様な形態や能力を持っていると理解することができる」という点では、多くの児童が、海の生き物の特徴について興味を持ったようである。

4. 今後の課題

1時間目の調べ学習で設定した「生き物の持つ特徴や能力についての疑問」であるが、「なんで～なのかな？」と記載するまでは可能だったが、その問いを立てるのみで終わった。調査・分析する手立て自体が難しい疑問もあり、小学5年生には難しい設問内容であった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

事前学習の段階では、興味喚起のために、児童には好きな海洋生物を選ばせて調べさせる。

しかし、ワークショップで、児童の人数と同じ数の生物を取り上げることはできない。45分という時間を考えれば、最大でも7つが限界である。事前に、その7つを決めておく必要がある。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝，10.5ポイント / マージン：上下端20mm，左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。